

平成30年4月10日

一般社団法人 全日本船舶職員協会
会長 岩田 仁 殿

監事 本望 隆司



監査報告書

私は、平成30年4月10日に平成29年4月1日から平成30年3月31日までの、平成29年度における会計及び業務並びに公益目的支出計画の実施状況について監査を行いました。その結果について次の通り報告いたします。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査については、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類及びその付属明細書の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。
- (3) 公益目的支出計画実施報告書については、事業報告・計算書類及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて公益目的支出計画の実施状況の妥当性を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 計算書類及び付属明細書は、財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告及びその付属明細書の内容は、事実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令及び定款に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。
- (5) 今年度収益事業部門が発足し、継続事業終了後の事業の主体となる新たな部門が立ち上がったことは大きな前進であり、今後さらなる発展を期待します。
会員数の減少傾向は弱まってはいるがさらなる努力が必要です。
職業紹介部門はさらなる実績向上に努力すべきです。

以上